

教員・保育士採用試験受験者との交流会

11月21日に、教員採用試験めざして頑張った学生たちと新に教師をめざす学生たちとの交流会を行いました。田畑学長と池田センター長からは、賞賛の言葉とこれに続く学生たちへ激励の言葉がありました。壇上では、幼保、小学校(特別支援)、中・高の代表が、諏訪部副センター長の質問に答える形で発表が進行し、熱心に試験勉強の方法やマインドの保ち方、教職センターの活用の仕方等熱く語ってくれました。

その後は、幼保、小学校、中・高のグループ別に3教室に分かれ、在学生との座談会を開きました。膝と膝を交え顔を見ながら何でも質問に答えてくれる先輩方に、在学生は、聞き逃さないように前のめりで聞いている姿が印象的でした。在学生たちには、この交流会を通して知り合った関係を維持するよう、学内で会ったら声をかけ合ったり、困ったときなどは相談したりしていくように促して交流会は終了しました。充実した時間を過ごすことができました。

現在、教職センターでは、採用試験の早期化に伴い 2 月に行われる「大学推薦試験」に向けて、講座が行われています。そこでも先輩方に模擬授業をしてもらう機会を設けましたが、素晴らしいことに、交流会の後に、在学生たちは、自ら進んで先輩に模擬授業を見せてもらう機会を設けたり、教職センターの教科書や過去問などの資料を参考に模擬授業を計画したり、学生同士で模擬授業をするためにセンターの教室を借りに来たりと積極的な姿勢が多くみられるようになりました。

教職センターとしては、これからの教員養成に大きな期待をもつところとなりました。

保育士採用試験受験

